

第23回国立市健康危機管理対策本部会議記録

日時	令和3年11月30日（火）午前11時00分から午前11時40分
場所	市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎政策経営部長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長（健康福祉部ワクチン接種対策室長）、門倉都市整備部長、江村都市整備部参事、橋本教育次長、矢吹会計管理者、内藤議事務局長、佐伯オンブズマン事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長、田代監査委員事務局長、立川消防署：内山予防課長、瀧国立出張所長
付議事項	<p>（1）東京都の基本的対策徹底期間延長後の市の対応について</p> <p>①東京都・国立市の感染状況について（資料No.1）</p> <p>②国立市医師会長コメント（資料No.2）</p> <p>③東京都における基本的対策徹底期間の対応について（資料No.3,3-2）</p> <p>④市内の公共施設の取扱いについて</p> <p>⑤職場での感染防止対策について</p> <p>（2）自宅療養者への医療支援</p> <p>（3）その他</p>
主な内容	<p>（進行：大川健康福祉部長）</p> <p>1 本部長あいさつ（永見市長）</p> <p>今後の状況について、諸外国の感染拡大があり、入国制限が厳しくなっている。一方で、社会活動を回していくことも課題になっている。どう調和していくか、今後の在り方について検討していただきたい。</p>
	<p>2 議 題</p> <p>（1）東京都の基本的対策徹底期間延長後の市の対応について（大川健康福祉部長）</p> <p>①東京都・国立市の感染状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都モニタリング会議資料（資料No.1） <p>②国立市医師会長コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料No.2 <p>③東京都における基本的対策徹底期間の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料No.3,3-2 <p>④市内の公共施設の取扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術小ホールは、最前列を除いて原則100%ということで変更はない。ただし、声を発するイベントについては50%とする。総合体育館は75%から、100%とする（トレーニング室は除く）。郷土文化館や公民館も75%から100%とする。（橋本教育次長） ・集会所は、感染防止を徹底したうえで、制限を解除する。（黒澤生活環境部長） ・福祉会館の入浴施設の利用制限は、段階的に解除していく。（大川健康福祉部長） <p>⑤ 職場での感染防止対策について（藤崎行政管理部長）</p> <p>職場内での感染防止対策については、改めて通知する予定。職場外での会食については、東京都の基準を遵守し、引き続き感染防止に注意すること。</p> <p>（2）自宅療養者への医療支援（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <p>11月に入って相談対応はない状況。市医師会や訪問看護ステーション等が参加するチーム会議により、情報共有を続けている。感染第六波に向けて、引き続き多摩立川保健所等とも連携していく。</p> <p>（3）その他</p> <p>①立川消防署からの情報提供（立川消防署瀧国立出張所長）</p> <p>立川消防署の救急隊5隊の救急出場件数について、11月29日現在、前年同日比で-16件となり、前年とほぼ同様。オゾン消毒の実施件数は11月中に4件あり、新型コロナウイルス感染症疑いの搬送件数については落ち着いている状況。また、新型コロナウイルス感染症疑いのため病院選定に苦慮するような状況にはない。</p>
	<p>3 本部長指示及び対応方針について（永見市長）</p> <p>自宅療養支援室の他、感染第六波に向けて市が取り組んでいるものについては、体制が整い次第、市民に情報提供すること。今後も市民の命を守る仕組みづくりを継続してほしい。それぞれの課題について各担当がきちんと対応し、年末年始を無事乗り切っていけるよう、力を合わせていきたい。</p>